九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

奥村三雄解題『平曲正節一節付本平家物語一』

添田, 建治郎
九州大学助手

https://doi.org/10.15017/12165

出版情報：語文研究. 35, pp.59-60, 1973-08-31. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

きた解答ででもあると思うのであるが、それはそれとして、本書ができ上がるまでの想像を絶する苦労に対しては、これを心から賞讃したいのである。

（この紹介の一文を草するときに当たって、別に金田一春彦氏によって平家物語総索引の書が刊行されることを知った。笠さんの労作をそれと並べ、あるいは両書の長短を比較して論ずべき性質のものであると思われるが、未見の書としてしばらくおきたい。）

（昭和四十八年四月　福岡県宗像郡宗像町赤間七二九
福岡教育大学国語科研究室内　笠栄治発行
頒価　五〇〇〇円）

奥村三雄解題『平曲正節—節付本平家物語—』

添田建治郎

本書は平曲譜本の一、京都大学国文学研究室蔵本の「平曲正節」十八巻十八冊の複製・紹介として三分冊にまとめられている。「本文の姿を忠実に伝える」という配慮から行なわれている朱筆や青筆による書き入れ、節ハカセ、発音注記などの色彩も、墨筆同様に鮮やかに復元され譜記その他の微細にわたる判読に困難をおぼえない。冒頭に奥村三雄氏の手になる「解題」が収められ、本書を活用される研究者、わけても、国語音韻の研究に取り組まれる諸家への案内が詳しい。以下、氏の「解題」を中心にして紹介の筆を進めること、したい。

五十ページにわたる「解題」では、文献の体裁に関する紹介的記述については勿論、本文、譜記についての詳細で適確なる吟味が行なわれており、他の平曲諸本のもつ特徴との比較考察によって、平曲譜本の系統関係についての記述、すなわち、〈未整理の多く認められるこの前田流平曲正節は、荻野本平曲正節を忠実に転写したもので平家正節の原稿本にあたるもの〉という報告から筆を起している。次いで、狭義の音韻資料としての活用の途を明きらかにするという見地から、発音注記の紹介と現象の解釈処理、更には、発音注記の施されていることの意味に関しての考察に及び、やがて、近世初期を語るべきアクセント資料としての重要なる意義について言及していく。特にこ

のアクセント資料としての意義については、氏の論文「アクセント史料として見た平曲譜本」（『文學研究』第69輯）において普遍化して述べるところがある。

確かに本書は、そこに施された莫大な量と質の発音注記、節ハカセといい、近世初期の京阪アクセントの現実の姿を旋律の上に反映するその精度といい、既に世に出ている幾多の国語音韻資料に遜色なく、国語史、とりわけ近世初期における広義、狭義両面にわたる音韻研究の上に新たな発展を確かに約束するものといえよう。清濁、四つ仮名、オ段長音の音韻論的解釈をはじめとし、話線を伴なうアクセントの観察に至るまで活用の途をあげれば枚挙にいとまがない。尚、少なからぬ索引書、資料紹介書の類が研究篇を用意せずに事足れりとする中で、本書の「解題」の筆を執られた氏には、本書刊行より早く「平曲譜本に反映したアクセント」（『國語と國文學』昭和45年10月特輯号）と、新しく、前記『文學研究』第69輯所載の論文との二つの報告が、謂ゆる〈研究篇〉に相当するものとして発表されており、橋本進吉、岩淵悦太郎、亀井孝、金田一春彦の諸氏の研究業績を継いで、平曲譜本の活用の途が氏によって改めて見出されたかの観がする。両論文とも併せて参照されたい。

「比較的未紹介のいろんな文献を、次々、研究者の手許に」という京都大学国文学研究室のこの度の事業は、国語学の諸分野に貢献する所、大なるものがあるが、本書もその一として特筆すべき資料であることを紹介しておきたい。

（臨川書店　全三冊　二〇〇〇〇円）

受贈雑誌　47年10月～48年6月　④

女子大国文（京都女子大）67 68／待兼山論叢（大阪大）6／語文（大阪大）30／大阪府立大学紀要20／人文研究（大阪市立大）23巻10分冊／女子大文学（大阪女子大）24／大阪樟蔭女子大学論集10／樟蔭国文学10／日本文学研究（帝塚山学院大）4 5／埴生野国文（四天王寺女子大）3／武庫川国文（武庫川女子大）5／人文論究（関西学院大）22巻2／日本文芸研究（関西学院大）24巻2～4、25巻1／国文学（関西大）47／国文学研究ノート（神戸大）1 2／神戸外大論叢23巻1～6／研究紀要（甲南女子大）9／甲南国文（甲南女子大）4 7／文林（松蔭女子学院大）7／親和国文（親和女子大）6 7／国文学攷（広島大）61／中世文芸（広島大）50後集／方言研究年報（広島大）15／国語国文学誌（広島女学院大）2／国語国文論集（安田女子大）3／島根大学文理学部紀要6／愛媛大学法文学部論集5／愛媛国文研究22／山口大学文学会誌23／国文学研究（梅光女学院大）8／文芸と思想（福岡女子大）37／香椎潟（福岡女子大）18／国語国文学研究（熊本大）8／国語の研究（大分大）6 7別府大学国語国文学14／佐賀大国文1／国語研究（九州大谷短大）1／鹿児島大学法文学部紀要文学科論集8／薩摩路（鹿児島大）17／文学研究（九州大）70／九州文化史研究所紀要1 2 18／文学論輯（九州大教養）20／万葉81／国語学91 92／国文学17巻14 16、18巻1～5／国立国語研究所年報23／日本学術会議月報13巻8～10、14巻2 3／国文学研資料館報1／書陵部紀要24／文献ジャーナル11巻9～12、12巻1～5／解釈（解釈学会）18巻11／古典と近代文学（有精堂）13